

保護者の皆様

千葉県立稲毛小学校
校長 小田 滋

令和7年度 学校評価アンケート(後期)まとめについて

寒さの中にも春の兆しが見え始める時節となりました。保護者の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、先日ご回答いただきました学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。結果は、今後の学校運営の参考とさせていただきます。なお、保護者の回答数は327(児童数430)で、回答率は76.0%でした。

児童用の質問内容		児童全体	低学年	中学年	高学年	保護者	教職員
「い」 いっぱい知りたい、やってみたい(知)							
1	学校での学習に、進んで楽しく取り組んでいますか。	3.5	3.6	3.4	3.4	3.2	3.2
2	友達や先生の話をきちんと聞いたり、相手にわかりやすく伝えたりしていますか。	3.4	3.5	3.2	3.3	3.0	3.3
3	ギガタブを活用して、楽しく学習に取り組んでいますか。	3.7	3.8	3.7	3.5	3.1	2.8
4	図書室や自分の本などを進んで読んでいますか。	3.2	3.6	3.3	2.7	2.7	2.8
「な」 なかよく生活、友達いっぱい作りたい(徳)							
5	友達や家族、地域の方などに進んであいさつをしていますか。	3.5	3.6	3.5	3.5	3.0	3.3
6	いじめをせず、友達に優しくしたり友達と仲良く過ごしたりしていますか。	3.6	3.7	3.6	3.5	3.4	3.5
7	みんなと気持ちよく生活できるよう、進んで考えたり行動したりしていますか。 (学校行事、係活動、清掃など)	3.5	3.6	3.4	3.4	3.3	3.4
「げ」 元気いっぱい、健康な心身になりたい(体)							
8	体育の学習などで進んで運動をしたり、休み時間や放課後に外遊びをしたりしていますか。	3.5	3.7	3.5	3.3	3.3	3.1
9	好き嫌いをせず、栄養バランスに気をつけて食事をしていますか。	3.5	3.5	3.4	3.5	3.0	3.5
10	交通安全のルールを守ったり、危険な目にあわないように過ごしたりしていますか。	3.7	3.9	3.7	3.6	3.4	3.5
「開かれた学校づくり」							
11	学校・学年だより等のおたよりやすぐーる配信、学校HP等によって、学校の教育活動を積極的に発信していると思いますか。					3.4	3.4
12	いじめや不登校の未然防止や早期発見、早期対応などに、適切に取り組んでいると思いますか。					3.2	3.4

今回の学校評価アンケートは、児童の自己評価項目をもとに、保護者用は児童の成長の見取りを、教職員用は自身の指導と支援の振り返りをそれぞれの項目として実施しました。以下の考察をもとに、子どもたちがさらに「い」「な」「げ」をバランスよく育みながら学校生活を送れるよう、全教職員で努めてまいります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。なお、あおぞら学級については、各学年の集計に数値を反映させています。

- 水色・・・前期と比較して、0.1ポイント上回るもの
- 青色・・・前期と比較して、0.2ポイント以上上回るもの
- 薄いオレンジ・・・前期と比較して、0.1ポイント下回るもの
- 濃いオレンジ・・・前期と比較して、0.2ポイント以上下回るもの



「い」 いっぱい知りたい、やってみたい（知）について

児童の自己評価は、数値としては前期同様に高い傾向にあり、学習に対して主体的に取り組もうとする姿勢が身に付いていることがわかります。後期は〈①学習への主体性〉の項目において、特に高学年の評価が伸びました。保護者の皆様には、学習参観などの折にお子さんが熱心に学習に取り組んでいたり、一生懸命相手を意識しながら発表したりしている様子を見ていただけているのではないかと思います。本校では「生き生きと学び合う力の育成」を学校教育の柱の1つとして位置付けており、自分の考えを適切に表現したり相手の思いを正しく受け止めたりする授業づくりを大切にしています。これは、学力向上のみならずコミュニケーション能力や人間関係形成能力、自己肯定感を高めることにもつながると考えます。〈②話す聞く〉の結果が示すように、まだまだ成果は上がっているとは言えませんが、引き続き授業改善を図り、毎日の学習を大切にしながら児童の成長を支えられるよう努めてまいります。

〈④読書〉については、前期にも課題として挙げておりましたが、学年が上がるにしたがって評価が下がる傾向は、前期と同様の結果となりました。ちなみに、このような傾向は本校だけの傾向ではないようです。25年10月24日の毎日新聞には、「『読書ゼロ』小中高生の半数、約10年で1.5倍に」との記事が掲載され、読書をしない児童が10年前の約1.5倍になっていること、スマホ時間と読書時間が逆相関関係にあること、読書0分の児童は語彙力・読解力が低い傾向にあること（ベネッセ教育総合研究所と東京大の合同調査）などが紹介されており、読書離れや読書の二極化については、全国的な課題となっているようです。次年度は、この傾向を学校の課題ととらえ、引き続き読書のよさや楽しさを児童が実感できるように、時間の設定や場の工夫を進めていきたいと考えます。ぜひご家庭でも絵本の読み聞かせをしたり、一緒に読書をする時間を作ったりするなどして、お子さんに読書習慣が身に付くよう支えていただくと幸いです。

「な」 なかよく生活、友達いっぱい作りたい（徳）について

この項目では、前期に比べると児童の自己評価がやや低く表れているところがありますが、数値としては前期同様高い評価となりました。高学年では、前期に比べて数値が上がっており、学校を支えようと頑張ってきた高学年児童の意識の高さを感じられるようです。次年度さらなる向上を目指すために、道徳教育の充実を図っていききたいと考えます。特別の教科「道徳」では、答えが一つではないさまざまな道徳的課題について考えたり話し合ったりしていますが、一人ひとりが自分自身の問題として捉えられるよう、学習の進め方や話し合いの進め方を工夫していききたいと思えます。また、挨拶や言葉づかいなどの基本的なマナーや礼儀は、集団生活を通して人と関わる中でこそ、その価値を実感できるものです。学級活動やふれあい活動、委員会活動などを充実させることで、互いの良さを認め合ったり協力して活動したりできる場を多く設定し、コミュニケーション能力の育成を図っていきます。

いじめや不登校などの生徒指導・教育相談に関わる問題の解消には、保護者の方との連携が不可欠です。お子さんが学校に自分の居場所を感じ安心して通えるよう、また保護者が安心して通わせられるよう、引き続き連携を密にし、未然防止・早期対応につなげていけるよう努めてまいります。本校ではスクールカウンセラーが週1回勤務しており、専門的なアドバイスを受けることができます。予約については、教頭または担任までご連絡ください。

「げ」 元気いっぱい、健康な心身になりたい（体）について

この項目の評価は、前期に比べて大きく伸びました。〈⑧運動〉については、上学年になるにつれてやや数値が下がっていることが課題となっていました。後期は大きく改善しました。春夏よりも秋冬の方が運動に適した気温になりやすいためか、校庭で元気に遊ぶ子どもたちの姿が多く見られるようになっています。また、5・6年生が大会に向けて陸上運動やボール運動に熱心に取り組んだことや、それを見た低・中学年の児童が運動へ関心や意欲を高めたこともその要因になっていると考えています。次年度以降も熱中症対策に十分配慮しつつ、体育学習の進め方を見直して運動量を確保したり休み時間に学級レクなどを積極的に行ったりして、運動に親しむ機会を意図的に設定していききたいと思えます。

〈⑨食育〉についても改善傾向となっています。これも保護者の皆様がお子さんに働きかけたり励ましたりしてくださったからだと思えます。秋休み明けに1年生保護者を対象に給食試食会を開きましたが、多くの方々にご参加いただきました。今後も学校からの情報発信について工夫してまいりますので、ご家庭でもお子さんと給食のメニューや食材について話題にしながら、食への関心を高めていただくと幸いです。

「開かれた学校づくり」について

後期もおおむね良好な評価となっておりますが、〈⑫いじめ・不登校対応〉においてはより適切な連携が望まれていることがうかがえます。子どもたちが健全に育っていく上で、学校・家庭・地域の連携は欠かせません。引き続き、学校での取組をお知らせする機会を工夫しそれぞれと連携を図ることで、保護者や地域の皆様に信頼される学校づくりをより一層推進していきたいと考えます。

「稲毛小のやくそく」「ご意見」について

自由記述の欄には、学校、担任への温かいお言葉を多くいただきました。ありがとうございます。また、さまざまな観点からご意見もいただきました。これらについては学校全体で共有し、後期に向けて継続・改善できるよう検討していききたいと思います。

「お子さんの携帯電話等の情報機器の保有状況」について

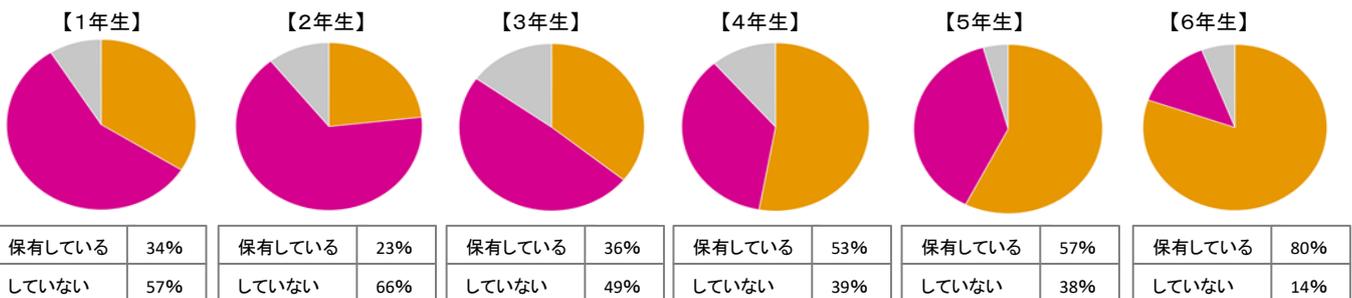
今回は生活アンケートとして、お子さんの携帯電話・スマートフォン・タブレット等、インターネットにつながる情報機器の保有状況（保護者との共用は除く）について、お尋ねしました。

下のグラフからは、学年が上がるにつれて保有率が上がっていること、使用上の約束等については、「時間の制限」「課金の制限」「個人情報の管理」「フィルタリング機能の活用」が上位に挙がっており、各ご家庭の状況に合わせて、お子さんと確認していただけていることが読み取れます。

各機器をお子さんに持たせるかどうかはご家庭ごとの判断ですが、昨今報道されているようなトラブル、また健康被害を回避する上でも、使用の仕方や管理まですべてをお子さんに委ねてしまうのは、よくありません。特に個人情報の管理については、自身はもちろん他者もトラブルに巻き込んでしまう危険性もあり、注意が必要です。ご家庭でお子さんでちゃんと約束事を話し合うとともに、定期的に状況を確認し把握するようにしてくださいと、お子さんも安心だと思います。

千葉市立の学校では、一人一台端末（ギガタブ）の更新を来年度に控えています。ICTの活用によってさらに効果的な学習指導ができるよう、教職員の研修に努めていきます。また同時に、情報社会の中で子どもたちが健全に成長できるよう、発達段階に応じた情報モラル教育にも、各学年で力を入れて取り組んでまいります。

①お子さんの情報機器の保有率



②使用させる際の約束・ルール（上位3つまで）

時間の制限	79%	時間の制限	92%	個人情報の管理	79%	課金の制限	89%	時間の制限	89%	課金の制限	88%
課金の制限	63%	課金の制限	77%	課金の制限	79%	時間の制限	79%	課金の制限	89%	個人情報の管理	88%
個人情報の管理	53%	フィルタリング	62%	時間の制限	74%	個人情報の管理	75%	フィルタリング	74%	時間の制限	83%

★情報モラル教育に関する動画教材等をまとめたリーフレットです。
必要に応じて、ご活用ください。

